

Weekly Report

～ わが家の省エネ・節電大作戦 ～

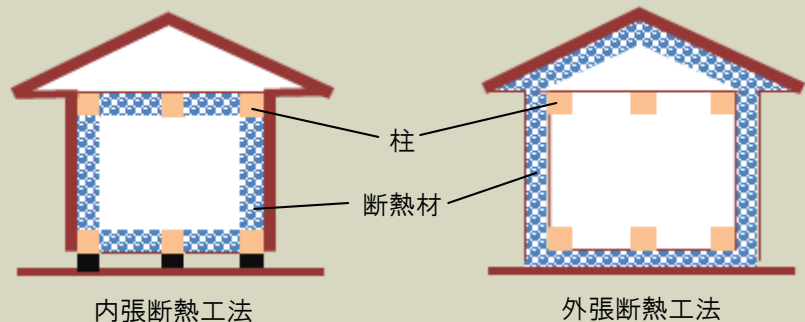
NO.59

今週のテーマ

「省エネ住宅を知る」

床、壁、天井への対策

内張断熱工法と外張断熱工法



「住宅の気密性にも配慮」
住宅の省エネ性能を高めるためには、窓などの開口部や床、壁、天井などへの断熱だけでなく、気密にも配慮する必要があります。特に、今回紹介した内張断熱工法の場合、気密シートや気流止めなどの措置を行うことが求められます。

前回のレポートに続き、今回も住宅の断熱方法を紹介します。

開口部以外の床や壁、天井部分の断熱方法には、内張断熱と外張断熱工法の2通りがあります(上図)。内張断熱工法は床や壁の室内側に断熱材を充填(じゅうてん)するため充填断熱工法ともいいます。柱と柱の間に設けられる筋交いや配管などがあるため、外張断熱工法よりも施工は難しいといわれています。一方、外張断熱工法は床や壁などの外側に断熱材を張るため、断熱材の厚みの分だけ外壁が厚くなります。断熱材の素材は繊維系とプラスチック系などがあり、形状はマット系やボード系、現場に

て吹き付ける発泡系がありますので、施工をする場合、それぞれの断熱性能や施工の容易さ、費用などを考慮して決定します。

住宅の断熱、そして欄外に記した気密を施すことで省エネ性能の高い住宅になりますが、換気にも配慮することが求められています。リビングやキッチンなどには換気装置の設置が義務付けられ、換気量は1時間に部屋の半分を入れ換えることが目安となっています。

2回にわたり、住宅そのものの断熱、気密、換気について紹介しましたが、次回は住宅設備の省エネについてお話をします。

エクシーズ株式会社

2017-03-20号 No.59

〒120-0036
東京都足立区千住仲町11-12
千住彩館602
TEL : 03-3882-8446
URL : <http://www.exceeds.jp/>

次回は03月27日(月)「住宅設備の省エネ化 I」についてです。